

公共施設再配置特集

進んでいます老朽化 進めています公共施設の再配置

10年後には84%が「築30年以上」に

人口急増期に集中して建ててきた公共施設は、老朽化が進行しています。そのため、公共施設は、大規模な修繕や改修のために多額の財源が必要になってきます。市では、財政運営がより厳しいものとなる中で、床面積を削減しながら公共施設の機能を適切に維持していくための取組を進めていますが、平成27年度における主な取組を紹介します。

問い合わせ 公共施設再配置推進課 ☎(82)5122



「未来につなぐ市民力と職員力のたすき」
丹沢つなぐ君

1 地域のニーズに合った施設運営

－小規模地域施設の移譲と開放－

児童館や老人いこいの家を地域に譲渡し、地域のニーズに合わせた運営ができるようにします。

これまで市が行っていた児童や高齢者へのサービス機能はそのままに、市民活動などにも幅広く活用することで、公共施設の機能が拡充するようにしていきます。

今後、地域の皆様のご意見を伺いながら具体的取組を進めます。



老人いこいの家

身近な施設が使いやすくなると便利になるかも。

つなぐ君

ボランティア活動から趣味活動まで幅広く使えるね。

みらいちゃん

2 新たな運営方法を研究

実証実験中

－スマートライブラリー実証実験－

本町公民館の図書室では、平成29年3月末(予定)まで、利用する方が「図書館カード」をかざして入り、自動貸出機・返却機を操作する実証実験を行っています。図書の紹介やイベントの充実など、より専門的なサービスの向上につなげるとともに、身近な場所での貸出サービスの実施に向けた研究を進めます。

皆さんからのご意見や感想をお寄せください。

※初めて利用するときは、本町公民館の窓口で利用登録が必要です。



カードをかざして入室



自動貸出機を操作

最初は使い方に戸惑うかもしれないけれど、慣れば簡単だね。

つなぐ君

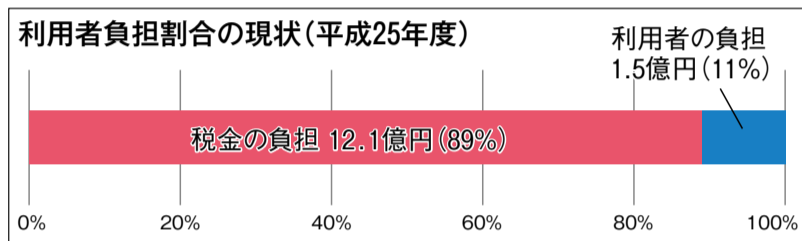
実験をはじめてからの利用者は増えているよ。

みらいちゃん

3 公共施設の利用者負担を考える

－公共施設の利用者負担の見直し－

文化会館や体育館、公民館など、市民の皆さんが趣味活動などで利用できる施設59か所について、利用する方が納める使用料をどのようにしていくか、市民の皆さんと一緒に考えています。



■利用者負担の見直しに係る実証実験

利用者負担の見直しにあたっては、子育て世代を応援するため、子どもの利用の無料化も考えています。昨年の夏休み期間にあわせて、施設管理などへの影響を検証するための実証実験を行いました。



広報はだの平成27年6月15日号

入場者が前年より増えました。

つなぐ君

主な施設	入場者(前年比)
中央運動公園水泳プール	50,290人(↑7.8%)
おおね公園温水プール	8,350人(↑12.1%)

※大人・子どもの合計

■公共施設フォーラム2016

市の人口や財政、公共施設の現状について情報共有を図り、施設を利用する方の率直なご意見をお聞きする場として、本年1月から3月まで、座談会形式で職員との意見交換、参加者どうしの意見交換を行っています。



座談会形式で開催

3月17日(木)午後6時半	文化会館
3月19日(土)午後1時半	南公民館
3月26日(土)午後1時半	堀川公民館

ご意見の一部

- ・財政が厳しい中の趣味活動に利用者の負担は必要だが、施設間の差が出ないようにしっかりと使用料を設定して欲しい。
- ・公共施設は安価で利用できるため、皆の利用に役立っている。今後も利用しやすい施設となるよう、十分に考えて欲しい。

平成23年度～27年度の公共施設再配置の取組の実績(見込み)

- 公共施設の床面積 約2,200㎡削減
(学校の教室に換算すると約30教室分)
- 床面積の削減に伴う効果額 約11億円



「秦野市公共施設の再配置に関する方針」と「秦野市公共施設再配置計画」は、本年2月26日に日本計画行政学会が行政・民間を問わず優れた計画を表彰する「第16回計画賞」の最優秀賞を受賞しました。